

霧島山周辺の地殻変動

Crustal Deformations around Kirishima Volcano

国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan

第1図から第5図は、霧島山周辺におけるGNSS連続観測結果である。

第1-1図上段に基線図の配置を、中段に各観測局の保守履歴を示した。第1-1図下段及び第1-2図は、第1-1図上段に示した基線の基線長変化グラフであり、左列は最近約5年間（2014年1月～2019年2月）の時系列、右列は最近約1年間（2018年1月～2019年2月）の時系列である。

第2-1図では上段に東に位置する「野尻」から硫黄山周辺各点への基線図の配置を、中段に「野尻」の保守履歴を示した。第2-1図下段及び第2-2図は、第2-1図上段に示した基線の基線長変化グラフであり、第1-1図下段及び第1-2図同様に、左列は最近約5年間（2014年1月～2019年2月）の時系列、右列は最近約1年間（2018年1月～2019年2月）の時系列である。

第3図の上段に硫黄山、韓国岳、新燃岳を囲む基線図の配置を示した。第3図下段は、第3図上段に示した基線の基線長変化グラフであり、最近約22年間（1997年1月～2019年2月）の時系列である。霧島山を挟む基線での伸びは2018年9月以降鈍化している。

第4図は、霧島山周辺の電子基準点、気象庁及び防災科学技術研究所のGNSS観測点の統合解析から得られた水平変動ベクトル図であり、「野尻」を固定局としている。第4図上段に最近3か月間（2018年10月～2019年1月）を、下段に最近1年間（2018年1月～2019年2月）を示した。

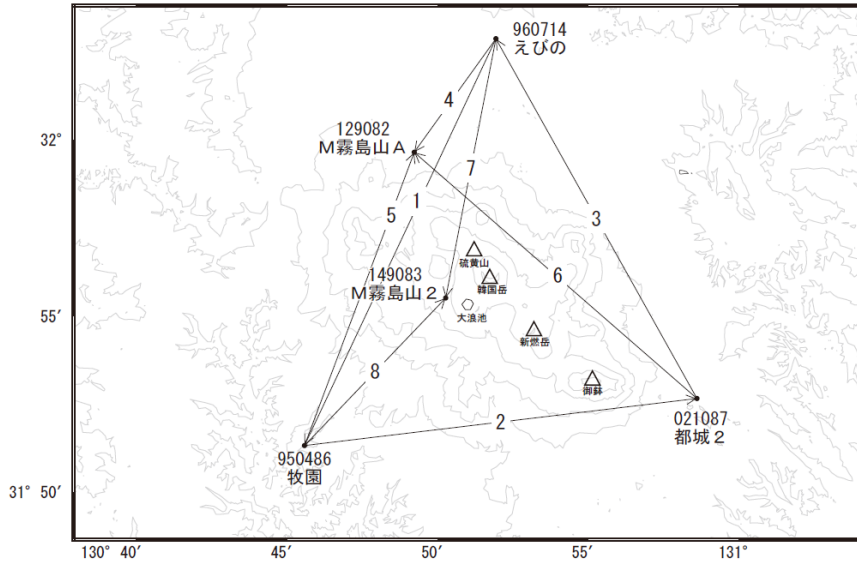
第5図は、「だいち2号」のSAR干渉解析結果、第1表はその解析の諸元情報である。第5-1図は霧島山周辺の解析結果を、第5-2図は硫黄山の拡大図を、第5-3図は新燃岳の拡大図を示した。長期ペアの(a)(c)では、新燃岳で火砕物による非干渉領域が見られる。第5-4図は硫黄山の2.5次元解析結果を示した。2018年5月以降、硫黄山で最大約5cmの隆起、最大約2cmの東西方向の相対的な伸長の変動が見られ、地下浅部での膨張によるものと考えられる。新燃岳で約2cmの沈降、最大約2cmの東西方向の相対的な短縮の変動が見られ、山体の収縮によるものと考えられる。短期ペアの(b)(d)の新燃岳では火口内で膨張とみられる衛星に近づく変動が見られる。

第6図は、GNSS観測データに基づき、時間依存のインバージョン手法により霧島地域の変動源を茂木ソースと仮定して体積の増減を時系列的に推定した結果である。第6-1図上段は推定に用いた観測点の配置と変動源の位置図で、下段は推定された体積増減の時系列である。2011年及び2018年に噴火により、一時的に体積が著しく膨張及び収縮したが、全体として変動源は膨張傾向にある。第6-1図は推定された各観測点の地殻変動（計算値）と観測値を比較した時系列グラフである。このモデルから推定した計算値は比較的よく再現されている。

謝辞

ここで使用した「だいち2号」の原初データの所有権は、JAXAにあります。これらのデータは、「だいち2号」に関する国土地理院とJAXAの間の協定に基づき提供されました。

霧島山周辺GEONET(電子基準点等)による連続観測基線図(1)



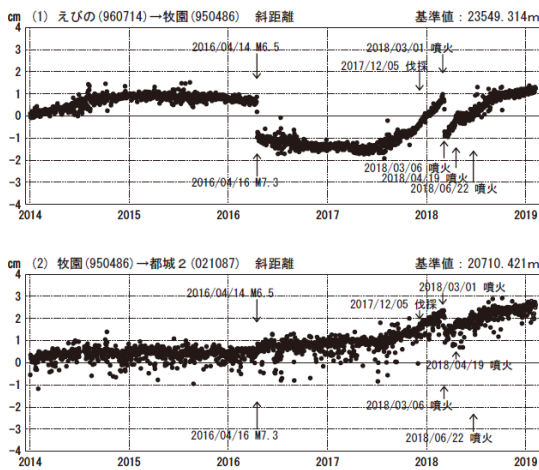
霧島山周辺の各観測局情報

点番号	点名	日付	保守内容
950486	牧園	20150622	受信機交換
		20171205	伐採
960714	えびの	20140814	伐採
021087	都城2	20140616	受信機交換
		20140717	受信機交換

点番号	点名	日付	保守内容
129082	M霧島山A	20140514	受信機交換
		20141021	受信機交換
		20150909	受信機交換
149083	M霧島山2	20141021	新設
		20150909	受信機交換

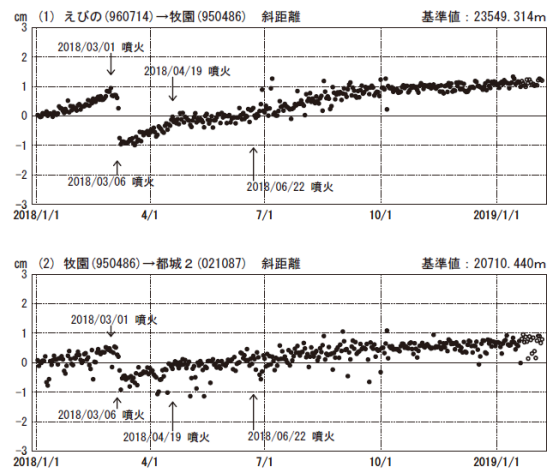
基線変化グラフ (長期)

期間: 2014/01/01~2019/02/05 JST



基線変化グラフ (短期)

期間: 2018/01/01~2019/02/05 JST



●---[F3:最終解] ○---[R3:速報解]

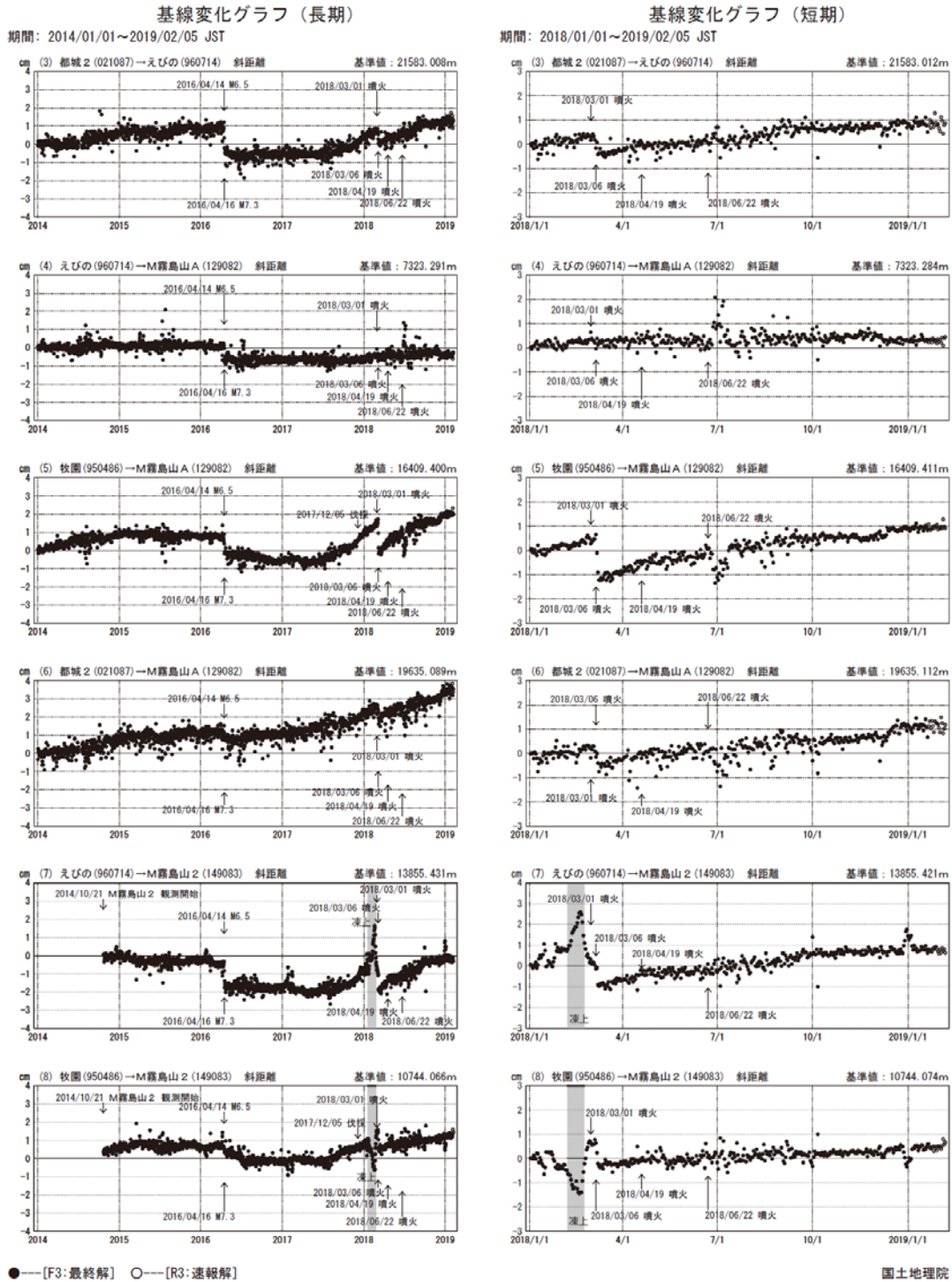
※[R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

国土地理院

第1-1図 霧島山周辺のGNSS連続観測基線図(上段)、観測局の保守履歴(中段)、

基線変化グラフ(下段 左列:2014年1月~2019年2月、右列:2018年1月~2019年2月)

Fig.1-1 (upper) Site location map of the GNSS continuous observation network around Kirishima Volcano; (middle) History of site maintenance; (lower) Time series of baseline length (left) from January 2014 to February 2019, (right) from January 2018 to February 2019.



※[R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

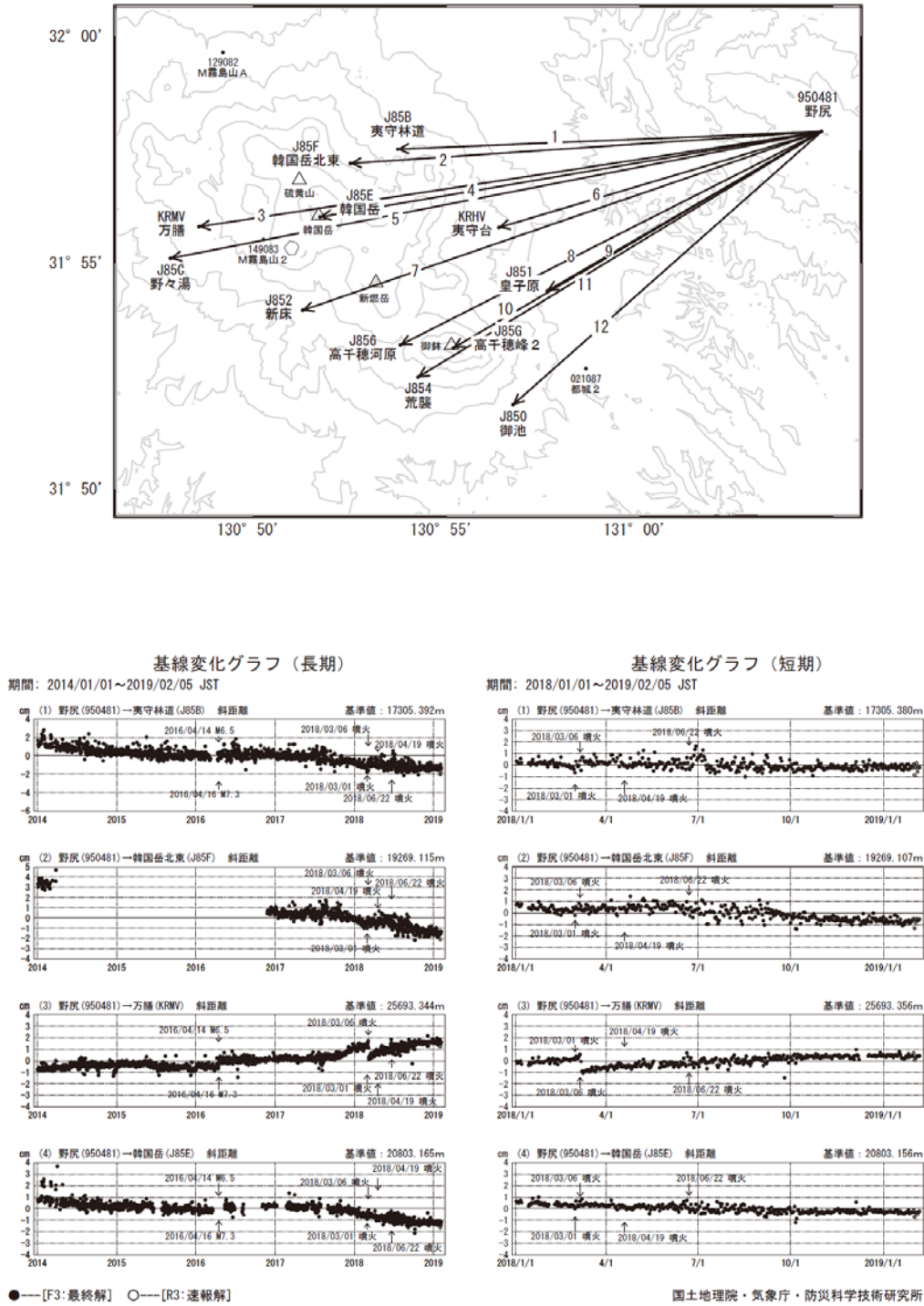
第1-2図 霧島山周辺のGNSS連続観測による基線変化グラフ

(左列：2014年1月～2019年2月、右列：2018年1月～2019年2月)

Fig.1-2 Time series of baseline length by continuous GNSS observation around Kirishima Volcano;

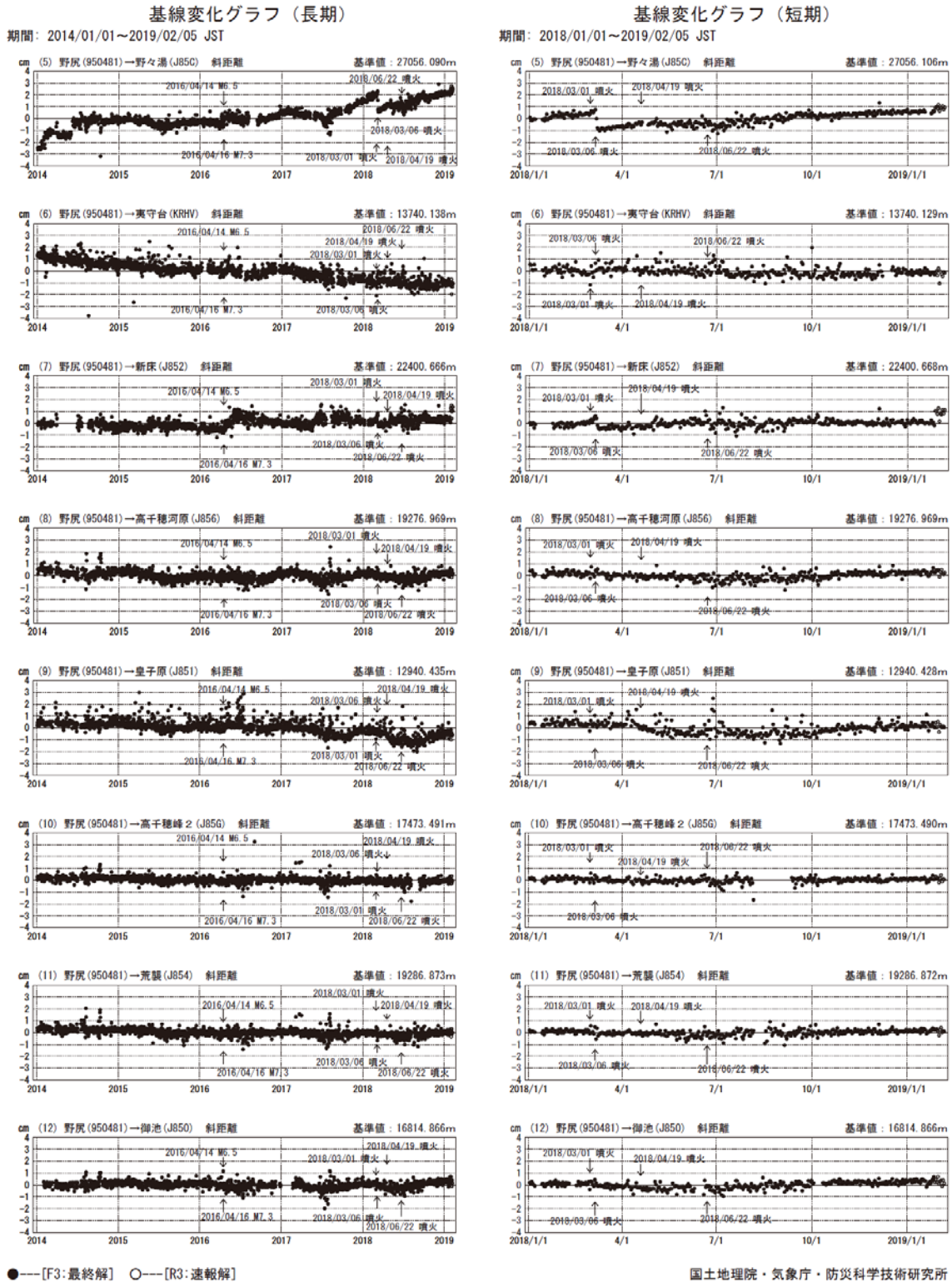
(left) from January 2014 to February 2019, (right) from January 2018 to February 2019.

霧島山周辺GEONET(電子基準点等)による連続観測基線図(2)



第2-1図 霧島山周辺のGNSS連続観測基線図(上段)、基線変化グラフ(下段 左列:2014年1月~2019年2月、右列:2018年1月~2019年2月)

Fig.2-1 (upper) Site location map of the GNSS continuous observation network around Kirishima Volcano; (middle) History of site maintenance; (lower) Time series of baseline length(left) from January 2014 to February 2019, (right) from January 2018 to February 2019.



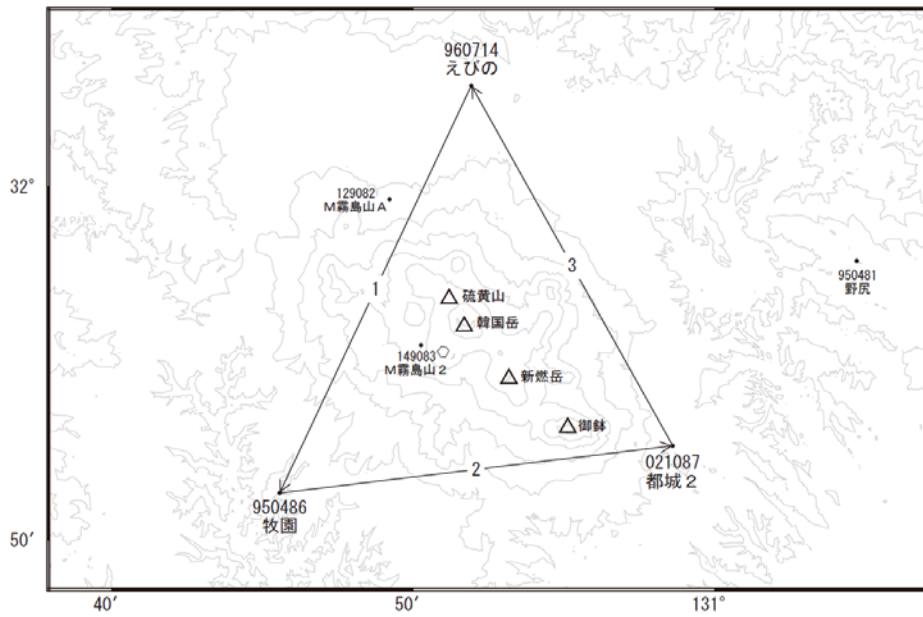
※[R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

第2-2図 霧島山周辺のGNSS連続観測による基線変化グラフ

(左列：2014年1月～2019年2月、右列：2018年1月～2019年2月)

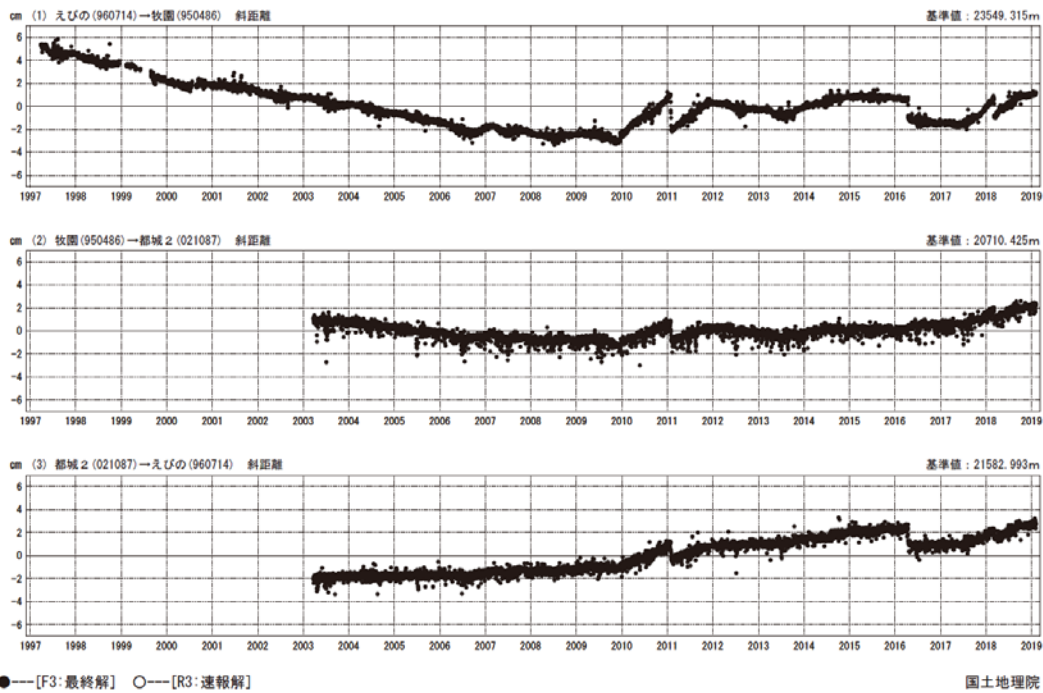
Fig.2-2 Time series of baseline length by continuous GNSS observation around Kirishima Volcano; (left) from January 2014 to February 2019, (right) from January 2018 to February 2019.

霧島山周辺GEONET(電子基準点等)による連続観測基線図(3)



基線変化グラフ

期間: 1997/01/01~2019/02/05 JST

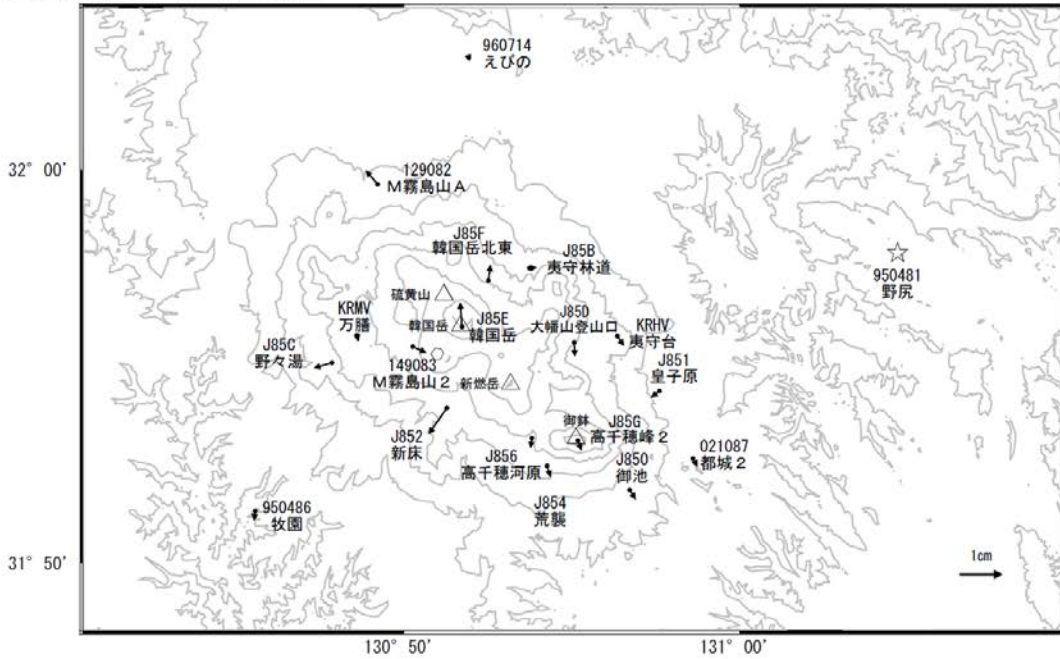


※[R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

第3図 霧島山周辺のGNSS連続観測基線図(上段)と基線変化グラフ(下段 1997年1月~2019年2月)
 Fig.3 (upper) Site location map of the continuous GNSS observation network around Kirishima Volcano;
 (lower) Time series of baseline length of continuous GNSS observation from January 1997 to February 2019.

霧島山周辺の地殻変動(水平:3か月)

基準期間:2018/10/27~2018/11/05[F3:最終解]
比較期間:2019/01/27~2019/02/05[R3:速報解]

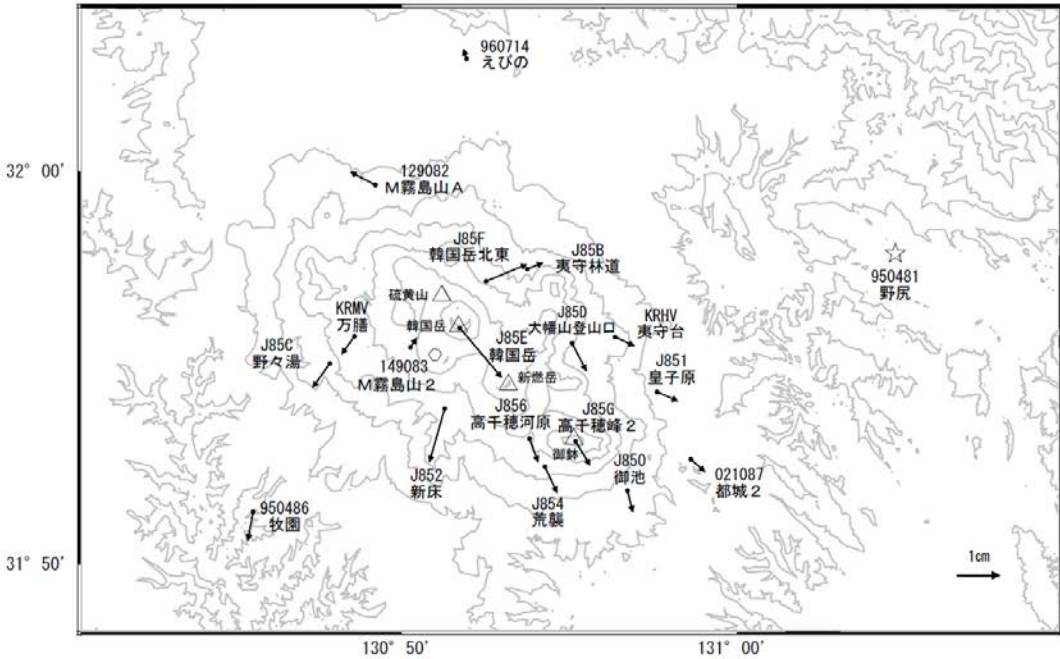


☆ 固定局:野尻(950481)

国土地理院・気象庁・防災科学技術研究所

霧島山周辺の地殻変動(水平:1年)

基準期間:2018/01/27~2018/02/05[F3:最終解]
比較期間:2019/01/27~2019/02/05[R3:速報解]



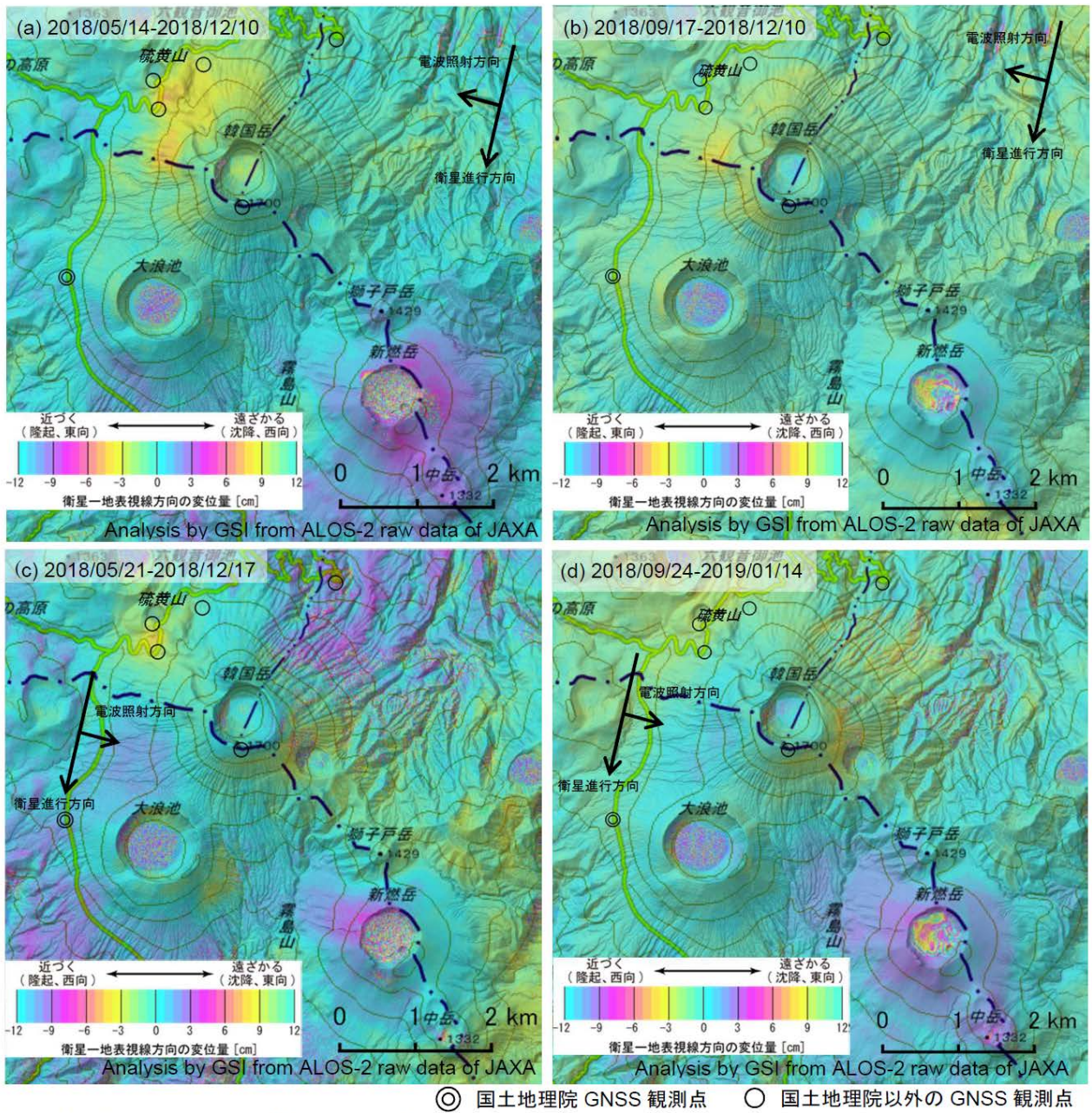
☆ 固定局:野尻(950481)

国土地理院・気象庁・防災科学技術研究所

第4図 霧島山周辺の電子基準点・気象庁・防災科学技術研究所 GNSS 観測点の統合解析による水平変動ベクトル図 (上段:2018年10月~2019年2月、下段:2018年1月~2019年2月)

Fig.4 Horizontal displacement of GEONET, JMA and NIED stations by the combined analyzing system around Kirishima Volcano;

(upper) from October 2018 to February 2019, (lower) from January 2018 to February 2019.



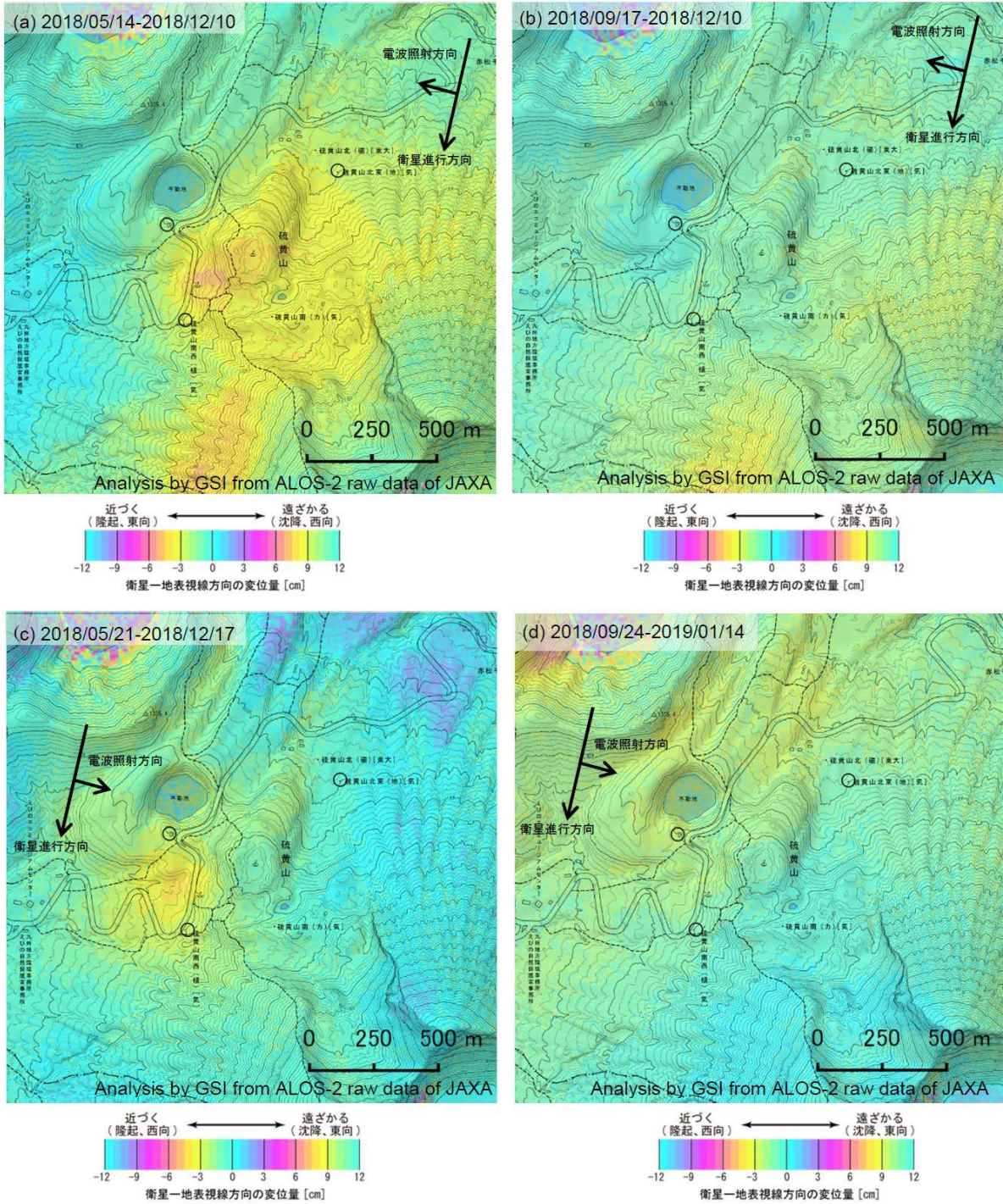
◎ 国土地理院 GNSS 観測点 ○ 国土地理院以外の GNSS 観測点

背景：地理院地図 標準地図・陰影起伏図・傾斜量図

第5-1図 「だいち2号」PALSAR-2による霧島山周辺地域の解析結果

Fig.5-1 SAR Interferograms of ALOS-2 PALSAR-2 around Kirishima Volcano.

【硫黄山の拡大図】



背景：地理院地図 火山基本図・陰影起伏図・傾斜量図

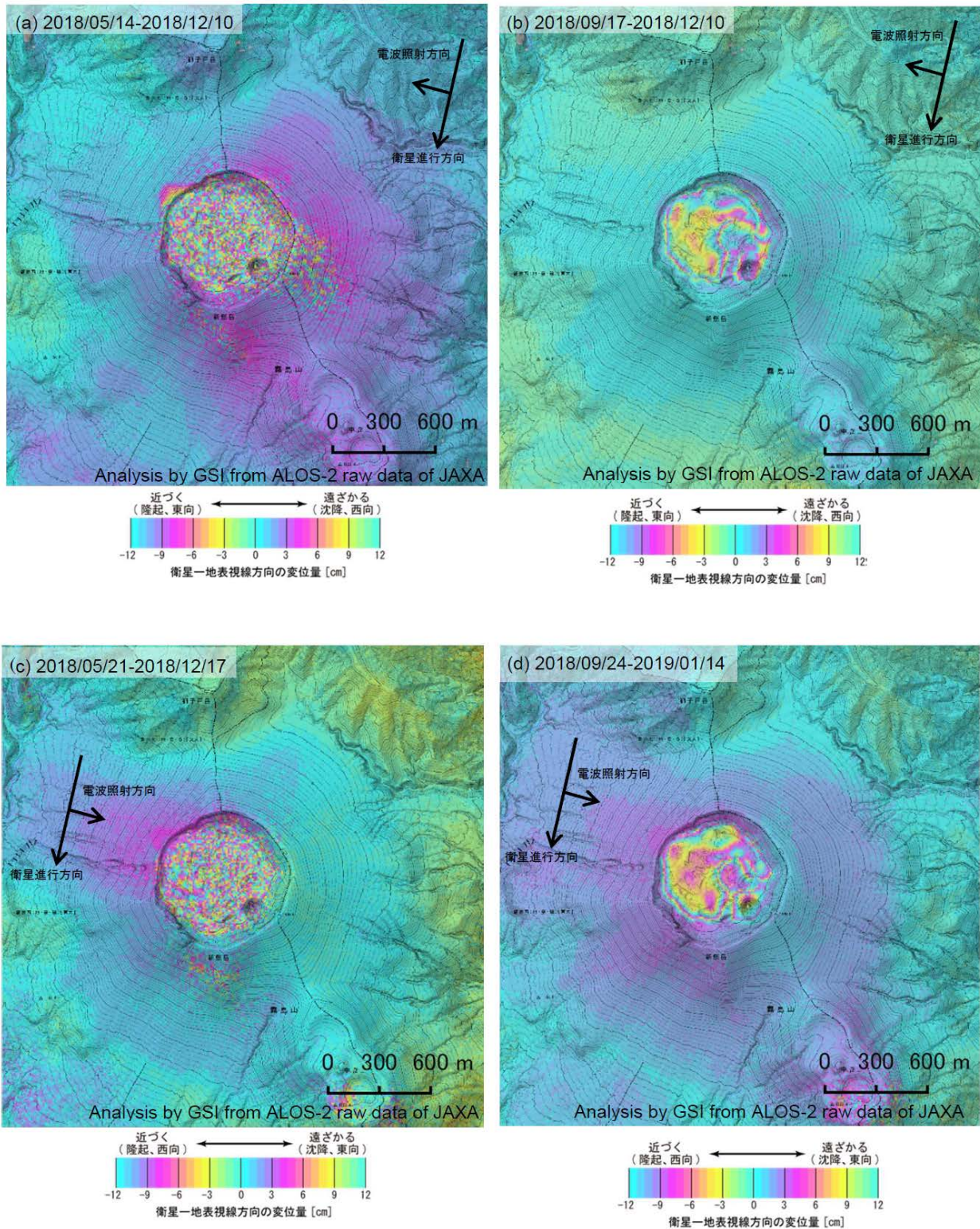
○ 国土地理院以外の GNSS 観測点

本解析で使用したデータは、火山噴火予知連絡会衛星解析グループの活動を通して得られたものです。

第5-2図 「だいち2号」 PALSAR-2による霧島山周辺地域の解析結果

Fig.5-2 SAR Interferograms of ALOS-2 PALSAR-2 around Kirishima Volcano.

【新燃岳の拡大図】



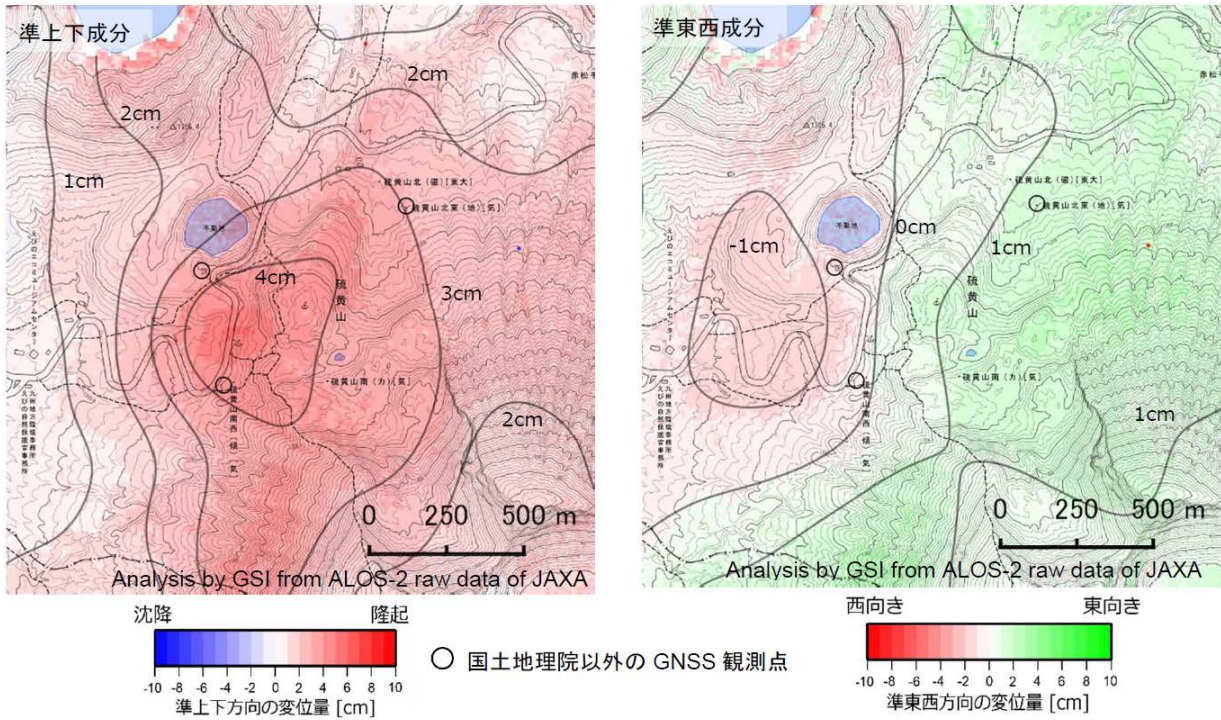
背景：地理院地図・火山基本図・陰影起伏図・傾斜量図

本解析で使用したデータは、火山噴火予知連絡会衛星解析グループの活動を通して得られたものです。

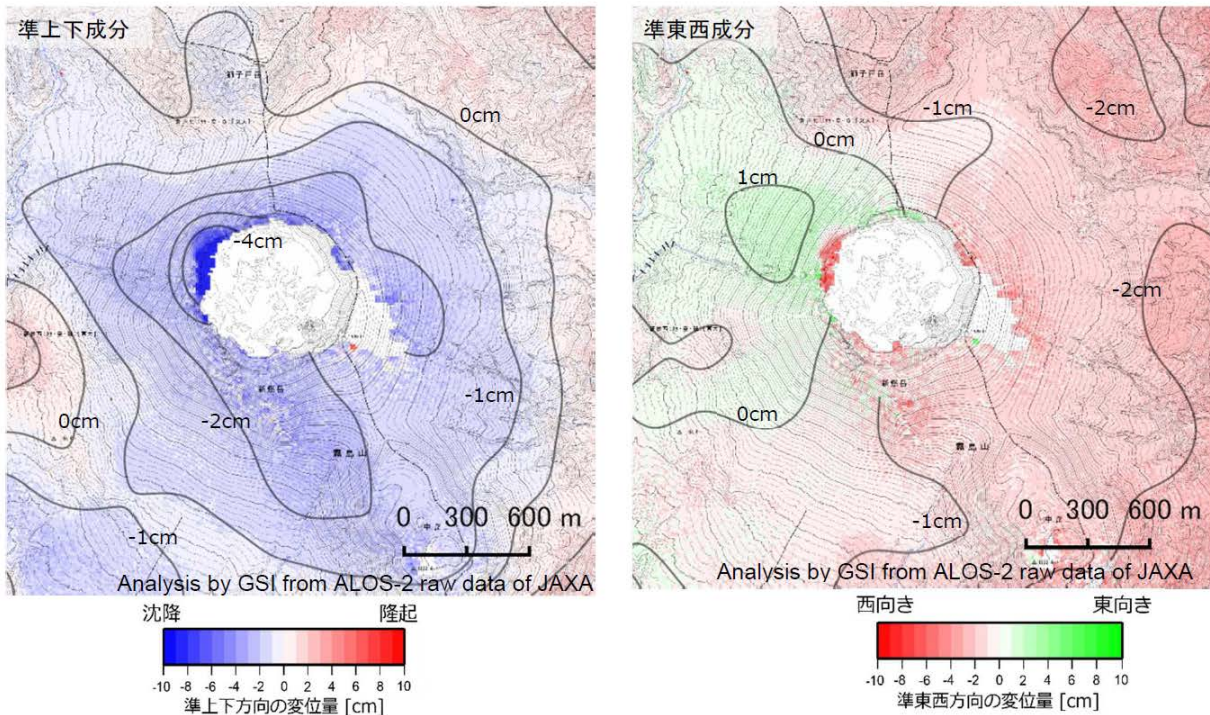
第5-3図 「だいち2号」PALSAR-2による霧島山周辺地域の解析結果

Fig.5-3 SAR Interferograms of ALOS-2 PALSAR-2 around Kirishima Volcano.

【(a) 2018/05/14-2018/12/10 と(c) 2018/05/21-2018/12/17 の2.5次元解析結果】
【硫黄山】



【新燃岳】



背景：地理院地図 火山基本図 準上下成分、準東西成分ともコンター間隔1cm

本解析で使用したデータは、火山噴火予知連絡会衛星解析グループの活動を通して得られたものです。

第5-4図 「だいち2号」PALSAR-2による霧島山周辺地域の解析結果

Fig.5-4 SAR Interferograms of ALOS-2 PALSAR-2 around Kirishima Volcano.

第1表 「だいち2号」 PALSAR-2による霧島山周辺地域の解析の諸元情報

Table 1. Information on Analyzed SAR Interferograms of ALOS-2 PALSAR-2.

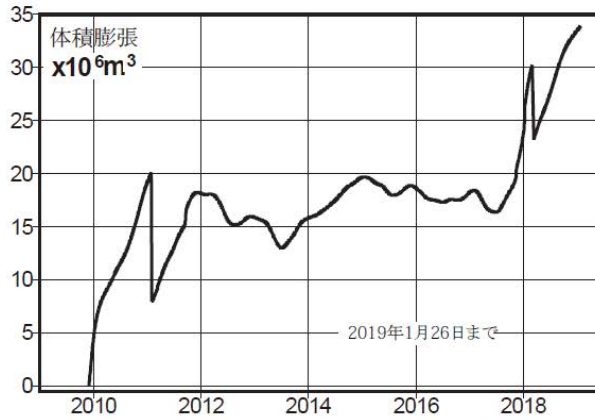
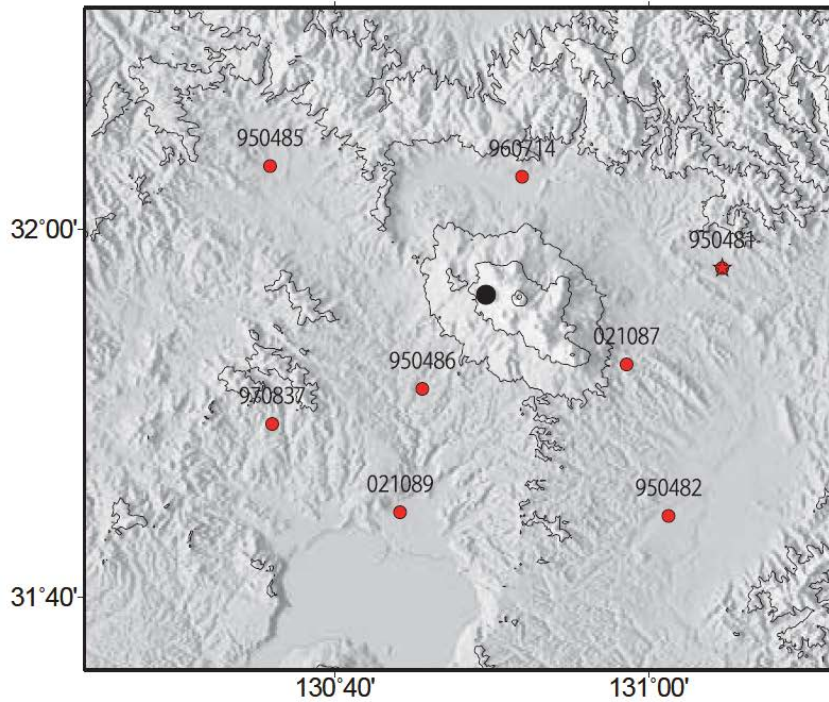
	(a)	(b)	(c)	(d)
衛星名	ALOS-2	ALOS-2	ALOS-2	ALOS-2
観測日時	2018/05/14 2018/12/10 12:19 頃 (210 日間)	2018/09/17 2018/12/10 12:19 頃 (84 日間)	2018/05/21 2018/12/17 13:07 頃 (210 日間)	2018/09/24 2019/01/14 13:07 頃 (112 日間)
衛星進行方向	南行	南行	南行	南行
電波照射方向	右	右	左	左
観測モード*	U-U	U-U	U-U	U-U
入射角	35.5°	35.5°	53.2°	53.2°
偏波	HH	HH	HH	HH
垂直基線長	- 185 m	- 253 m	+ 199 m	- 153 m

*U: 高分解能(3m)モード

本解析で使用したデータは、火山噴火予知連絡会衛星解析グループの活動を通して得られたものです。

霧島地域の茂木ソースの位置と体積変化

時間依存のインバージョン解析



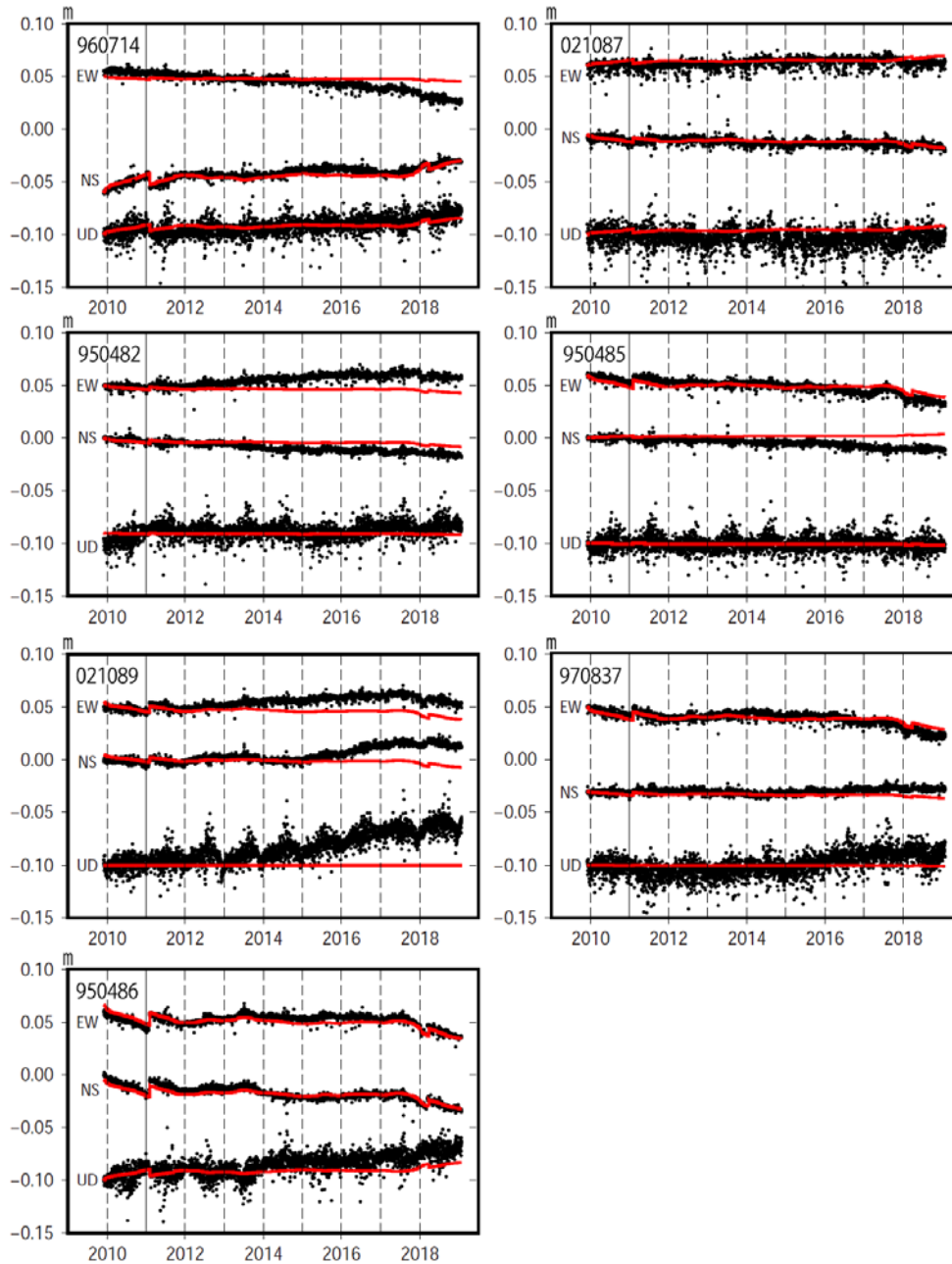
茂木ソース: 緯度 31.947° 経度 130.83° 深さ 7.4 km
 *電子基準点の保守等による変動は補正済

第6-1図 時間依存インバージョンの手法による霧島地域の変動源の体積変化推定
 (上段: 推定に用いた観測点(赤点)、固定点(星印)の配置と茂木ソースの位置(黒丸)、
 下段: 推定された茂木ソース体積の時間変化)

Fig.6-1 Estimation of the volume change of Mogi-source around Kirishima Volcano by the time dependent inversion method;
 (upper) distribution of GNSS observation sites (red dots) and fixed site (star) used for the inversion and Mogi-source (black circle), (lower) Time series of estimated volume of Mogi-source.

霧島地域観測点の座標時系列(黒丸)と計算値(赤線)

時間依存のインバージョン



固定局950481. EW, NS, UDは東西、南北、上下変動. 周期成分は除いている.

*電子基準点の保守等による変動は補正済み

*熊本地震の変動は補正済み

第 6-2 図 推定された茂木ソースによる地殻変動計算値(赤実線)と観測値(黒点)の比較

Fig.6-2 Comparison of calculated deformation from the estimated Mogi-source (red lines) and observed deformation (black dots).